

第7回 日本ニューロリハビリテーション 学会学術集会

The 7th Annual Meeting of the Japanese Society
for Neural Repair and Neurorehabilitation(JSNRNR)

テーマ

ニューロリハビリテーションにおける基礎から臨床への橋渡し

プログラム・抄録集

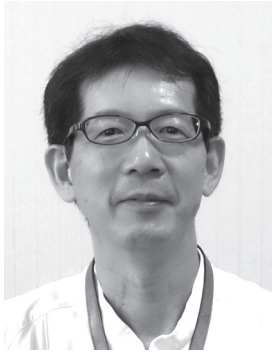
▶会 期 2016年5月21日(土)

▶会 場 神戸国際会議場

▶大会長 宮 井 一 郎

社会医療法人 大道会 森之宮病院院長代理

第7回日本ニューロリハビリテーション 学会学術集会開催に当たって



第7回日本ニューロリハビリテーション学会学術集会

大会長 宮井 一郎

(社会医療法人大道会副理事長、森之宮病院院長代理)

この度、第7回日本ニューロリハビリテーション学会学術集会を、平成28年5月21日(土)に神戸国際会議場にて開催させていただくことになりました。

本学会学術集会は、年に一度、ニューロリハビリテーションに携わるリハビリテーション医、神経内科医、脳外科医、整形外科医、療法士、看護師と脳科学の研究者が一堂に会し、日頃の研究・診療・教育の成果を発表するとともに、ニューロリハビリテーションに関する最新の知識と情報を交換・発信する場であります。学際的な臨床研究および治療開発を通して、いわゆる2025年問題の解決に向けて、わが国の医学医療の発展と国民の健康と福祉の向上に大きく貢献することを目的として開催されます。

年を追うごとに学会活動は盛んになっており、従来のリハビリテーションを運動や認知機能を制御する神経(ニューロ)からアプローチしようという視点がさらに洗練され、神経科学や臨床工学、神経薬理学、ロボティクスなど幅広い視点から超高齢社会の障害克服にむけて新たな変革がもたらされようとしています。そこで本学術集会のメインテーマはニューロリハビリテーションにおける基礎と臨床の研究成果さらなる融合を願って、「ニューロリハビリテーションにおける基礎から臨床への橋渡し」としました。初めての試みとして、第57回日本神経学会学術集会(梶 龍児大会長)と同会場での共同開催となり、これまで以上に、多彩で活発な意見交換がなされるものと期待されます。

是非、多くの臨床家、研究者、専門職の方々が参加されるよう、心よりお願い申し上げます。

日本ニューロリハビリテーション学会 役員

Founding and Honorary President

神野 哲夫

President

近藤 和泉

Secretary

園田 茂

WFNR Ambassador

加藤 庸子

Treasurer

篠田 淳

理事

生駒 一憲、本望 修、大熊 洋揮、寺山 靖夫、出江 紳一、島田 洋一、鈴木 則宏、
野川 茂、松前 光紀、中村 春基、水間 正澄、半田 一登、片山 容一、荒木 信夫、
朝貝 芳美、才藤 栄一、黒田 敏、伊藤 義彰、宮井 一郎、道免 和久、伊達 勲、
椿原 彰夫、梶 龍児、深浦 順一、佐伯 覚、川平 和美

幹事

加賀谷 斉、森田 功

事務局

小野木 啓子

第7回日本ニューロリハビリテーション学会学術集会 主催者

主 催：社会医療法人大道会 森之宮病院
〒536-0025 大阪市城東区森之宮 2-1-88
大 会 長：宮井 一郎（社会医療法人大道会 森之宮病院院長代理）
実行委員長：服部 憲明（社会医療法人大道会森之宮病院 神経リハビリテーション研究部部長）
事務局 長：前田 正浩
事務副局長：上田 三夫
事 務：井山 裕、野中 優、水谷 理恵、奥田 陽子

第7回日本ニューロリハビリテーション学会学術集会 査読委員

矢倉 一、畠中 めぐみ、服部 憲明、河野 悌司、藤本 宏明

第7回日本ニューロリハビリテーション学会学術集会 運営事務局

株式会社コングレ
〒541-0047 大阪府中央区淡路町 3-6-13
TEL：06-6229-2555 / FAX：06-6229-2556 / E-mail：jsnrnr2016@congre.co.jp

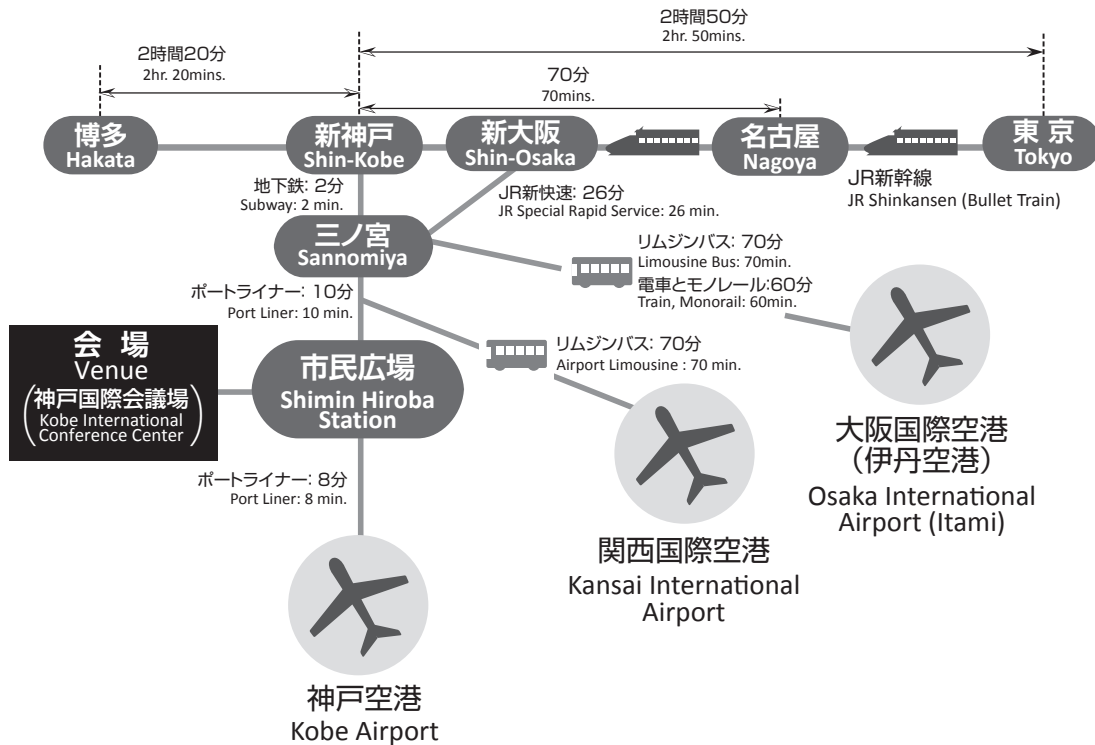
日本ニューロリハビリテーション学会事務局

藤田保健衛生大学医学部リハビリテーション医学Ⅰ講座 内
〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽が窪 1-98
TEL：0562-93-2167 / FAX：0562-95-2906 / E-mail：jsnrnr@fujita-hu.ac.jp

会場周辺のご案内

交通案内図

Access Map



■ 主な交通機関からのアクセス

Access from Major Train Stations

- JR新神戸駅から
From JR Shin-Kobe Station
 - ・ 地下鉄で三宮まで約2分
ポートライナーで10分(市民広場駅下車)
Please take the subway to Sannomiya (approx. 2 min.), then the Port Liner to Shimin Hiroba Station (10 min.).
- 三ノ宮(三宮)駅から
From Sannomiya Station
 - ・ ポートライナーで10分(市民広場駅下車)
Please take the Port Liner to Shimin Hiroba Station (10 min.).

■ 神戸空港からのアクセス

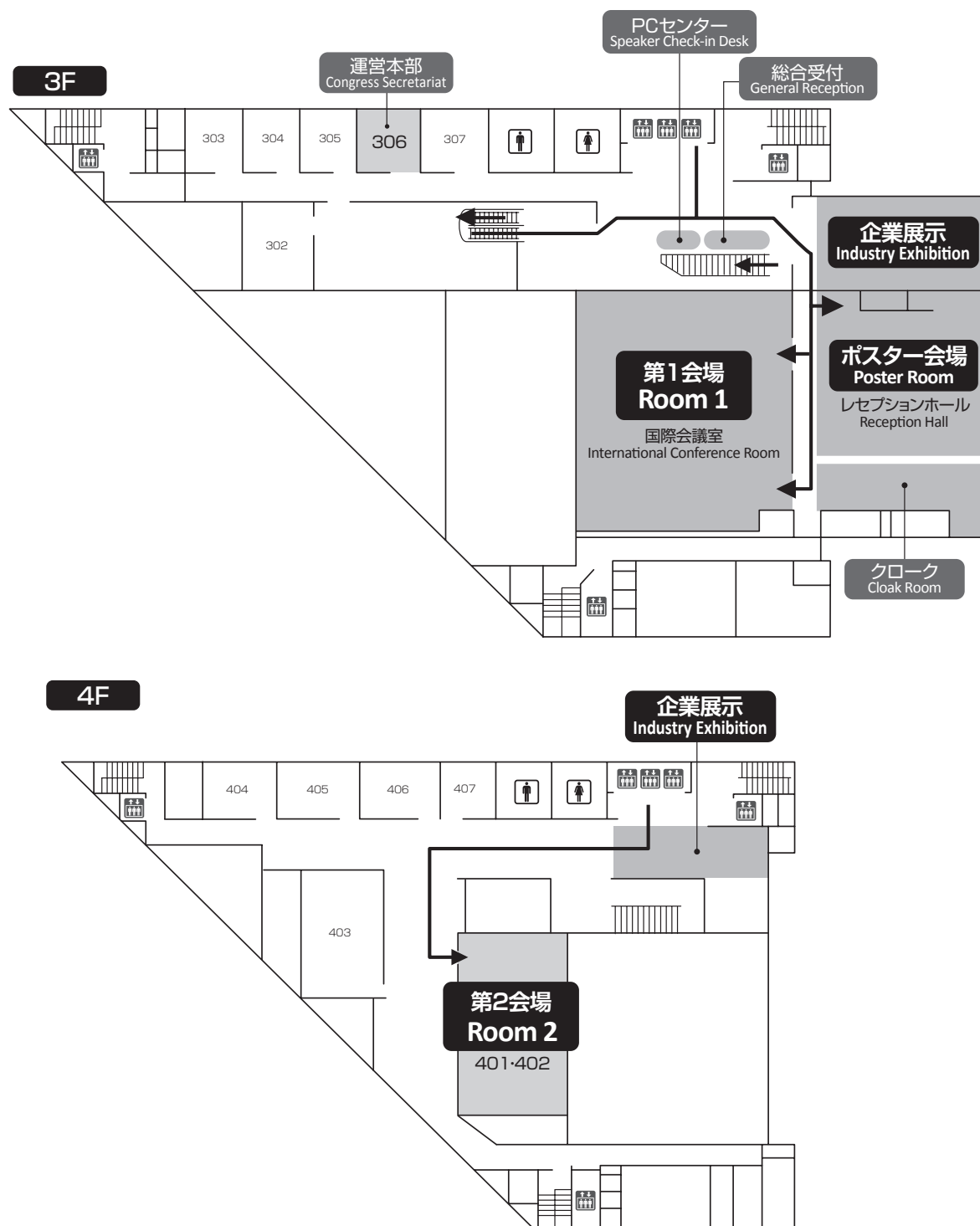
Access from Kobe Airport

- ・ ポートライナーで約8分(市民広場駅下車)
Please take the Port Liner to Shimin Hiroba Station (approx. 8 min.).

会場のご案内 神戸国際会議場

■ 会場配置図 Floor Map

神戸国際会議場 Kobe International Conference Center



学会参加者へのお知らせ

1. 参加受付

神戸国際会議場 3階 エントランスホールで下記の時間に行います。

受付：平成28年5月21日（土）7:15～16:10

参加費：受付にて参加費をお支払いください。引き換えに、参加証とプログラム・抄録集をお渡しします。
第57回日本神経学会学術大会の参加証をお持ちの方は、参加費が半額となります。

	医師・歯科医師		その他の職種		学生	
	ニューロリハ学会のみ参加	神経学会参加証あり	ニューロリハ学会のみ参加	神経学会参加証あり	ニューロリハ学会のみ参加	神経学会参加証あり
正会員 臨時会員	10,000	5,000	6,000	3,000	2,000	1,000
非会員	12,000	6,000	8,000	4,000		

- ・当学術集会の参加証をお持ちで、5月21日（土）に第57回日本神経学会学術大会へ参加される、神経学会非会員の医師は5,000円で参加できます。メディカルスタッフ（医師以外の医療従事者）であれば、神経学会の参加についてはメディカルスタッフ教育セミナー（1,000円）のご登録のみで、21日（土）の全てのプログラムにご参加いただけます。
- ※ニューロリハビリテーション学会のカテゴリーにある歯科医師は神経学会では医師のカテゴリーとなります。
- ※ニューロリハビリテーション学会では企業の方は「その他の職種」で学会参加が可能ですが、神経学会では非会員（企業を含む）になり、ニューロリハビリテーション学会の参加証をお持ちでも、割引の適用はございません。
- ・臨時会員の登録料（¥1,000/人）は当日受付にてお支払いください。
- ・学生は受付時に学生証の呈示が必要です。

2. プログラム・抄録集の販売

プログラム・抄録集代は参加費に含まれておりますが、ご希望の方には、総合受付内の抄録販売にて1部2,000円で販売いたします。

3. 新入会・年会費受付

新規入会登録、年会費納入などの事務は日本ニューロリハビリテーション学会事務局 受付で行います。

4. ランチョンセミナー

ランチョンセミナーチケットの配布はありません。

ランチョンセミナーのご案内

ランチョンセミナー1（11:45～12:45 第1会場）

『脳の可能性を引き出すニューロリハビリテーション』

座長：岡本 隆嗣（医療法人社団朋和会 西広島リハビリテーション病院）

演者：三原 雅史（大阪大学 神経内科）

共催：株式会社島津製作所

ランチョンセミナー2（11:45～12:45 第2会場）

『脳卒中リハビリテーションの流れ Evidence and Experiment based Rehabilitation Medicine』

座長：佐伯 覚（産業医科大学 医学部 リハビリテーション医学講座）

演者：藤原 俊之（東海大学 医学部 リハビリテーション科学）

共催：川村義肢株式会社 / パシフィックサプライ株式会社

5. 企業展示・書籍販売

場 所：神戸国際展示場 3F、4F

開設時間：9:00 ～ 17:00

6. クローク

手荷物はクロークをご利用ください。貴重品のお預かりはできませんので、予めご了承ください。

開設場所・時間：神戸国際会議場 3F レセプションホール 7:15 ～ 17:30

7. 単位認定について

1) 日本神経学会

当学術集会への参加により、2単位が取得できます。認定更新時期に学会事務局へ参加の証明となる書類（ネームカードのコピー等）の提出が必要となりますので、大切に保管してください。

2) 日本リハビリテーション医学会 専門医・認定臨床医

本学術集会の教育講演（全2講演）受講により、専門医・認定臨床医生涯教育 20単位（10単位/1講演）が取得できます。当日、学術集会に参加され、教育講演の受講を希望される方へ参加証をお渡しいたします。講演毎に配布される参加証を各自で保管し、日本リハビリテーション医学会事務局へ年度末に送付してください。なお、教育講演の受講料は不要です。

また、学術集会参加の10単位を申請される場合には、ネームカードも送付してください。

3) 日本摂食嚥下リハビリテーション学会

当学術集会への参加により、認定士更新の単位が10単位取得できます。ネームカードや参加費領収書を申請時にご利用ください。

4) 日本理学療法士協会履修ポイント・新人教育プログラムの認定について

日本ニューロリハビリテーション学会は日本理学療法士協会履修ポイント基準における関連学会として、下記の生涯学習ポイントが取得できます。

参 加：10ポイント

演題発表：5ポイント

ポイント申請手続きは、各自で行ってください。

※認定理学療法士・専門理学療法士申請の際はポイントとして認められない場合もありますのでご承知ください。発表者は「抄録のコピー」を日本理学療法士協会へ提出して申請してください。

<新人教育プログラムについて>

当学術集会参加では単位にはなりません。発表者については、各県士会にお問い合わせをください。県士会が承認すれば、「C-6 症例発表」が取得になる場合があります。申請には、領収書名札や「抄録」などが必要となりますので、大切に保管してください。

5) 日本作業療法士協会

生涯教育制度の基礎研修自由選択（基礎ポイント研修）1ポイント、さらに一般演題の発表で1ポイント加算となります。（参加は「参加証明書」を、発表は「抄録のコピー」を日本作業療

法士協会または各都道府県作業療法士会へ申請。申請の際は参加学会名、開催日、学会テーマを明記のこと。)

6) 日本言語聴覚士協会

当学術集会への参加、発表に伴い、日本言語聴覚士協会の生涯学習の基礎、専門の認定プロセスの中でポイントが付与されます。

参加1ポイント、発表1ポイントです。参加の場合は「参加証明書(ネームカードのコピー等)」を、発表は「抄録のコピー」を保管ください。

7) 回復期リハビリテーション病棟協会

本学術集会への参加により回復期リハビリテーション病棟協会のセラピストマネージャー、および認定回復期リハビリテーション看護師の更新ポイントを取得できます。ネームカードを参加の証明として、協会への申請時にお使いください。

※単位申請・取得等についての詳しいお問い合わせは、各事務局までお問い合わせください。

8. その他ご連絡

- 1) 写真撮影：講演会場内でのフラッシュによる場内撮影、録音、録画などは原則として禁止いたします。上記を希望される場合は、事務局に許可を取ってください。
- 2) 携帯電話：会場内での使用はご遠慮ください。会場内では電源をお切りになるか、マナーモードに設定してください。
- 3) 喫煙：会場内は禁煙です。喫煙は会場外の指定場所をお願いします。

座長・演者へのお願い

座長の皆様へ

口演発表座長の皆様

- 1) 来場されましたら、神戸国際展示場 3F の参加受付にて参加登録をお済ませください。
- 2) ご担当セッションの 15 分前までに、各講演会場内前方右側に設けております次座長席にお越しください。
- 3) 全講演会場にはタイムキーパーが入ります。座長席に準備しております表示時計をご確認いただきながら、時間の管理をお願いいたします。スムーズな進行のため、時間厳守にご協力ください。

ポスター発表座長の皆様

- 1) 来場されましたら、神戸国際展示場 3F の参加受付にて参加登録をお済ませください。
- 2) ご担当のポスターセッションの討論時間 15 分前までに、ご担当のポスター前へお越しください。
- 3) 1 題あたり発表 5 分、質疑・討論 3 分です。スムーズな進行のため、時間厳守にご協力ください。
- 4) タイムキーパーが入ります。アナウンスは用意しておりません。

演者の皆様へ

参加登録について

- 1) 特別講演演者の皆様
来場されましたら、神戸国際展示場 3F の参加受付にお越しください。
受付で学会参加受付を済ませたのち、神戸国際展示場 3F の PC 受付にてスライドのご確認をお願いいたします。
- 2) 口演発表、ポスター発表者の皆様
来場されましたら、神戸国際展示場 3F の参加受付にて参加登録をお済ませください。
ポスター発表者は、討論開始時間の 15 分前までにご自分のポスター前へお越しください。
口演発表者は、受付で学会参加受付を済ませたのち、神戸国際展示場 3F の PC 受付にてスライドのご確認をお願いいたします。

発表資格（口演発表・ポスター発表共通）

演者ならびに共同演者は、本学会員に限ります。

口演発表規定

1. 発表形式

- 1) 発表時間：発表 5 分、質疑応答 3 分です。
終了時間 1 分前と終了時間に演台上の警告ランプが点灯いたします。各自が時間を厳守してください。
- ①発表者は、当該セッション開始 15 分前までに次演者席にて待機してください。
- ②発表データの画面送りは、発表者におこなっていただきます。演台上にモニター、キーボード、マウスを準備しております。発表者は演台上のモニターを確認しながら、キーボードまたはマウ

スを使って画面送りの操作をおこなってください。

- ③持込み PC の場合、PC 本体は舞台上に上げず、オペレーター席で PC 本体をお預かりし、操作は同様に舞台上のキーボードまたはマウス操作でお願いいたします。
- ④レーザーポインターは舞台上に用意いたしますのでご利用ください。

2. データ作成要項

- 1) 当日発表用データは PC の持参。または USB メモリーでの持込みとなります。MO、CD-R、CD-RW、その他のメディアは対応いたしません。
- 2) 学会で準備するパソコンは OS Windows7 です。Macintosh をご使用の方は必ずパソコンをご持参ください。
- 3) 学会で準備するパソコンで使用するアプリケーションは、Windows 版 Microsoft PowerPoint2013 です。データ持込みの方は、必ず上記に該当するアプリケーションを使用し、スライドを作成してください。PowerPoint2016 をご使用の方は、ご自身のパソコンをご持参ください。
なお、フォントは Windows に標準搭載されている「MS・MSP ゴシック」「MS・MSP 明朝」「Times New Roman」「Arial」をご使用ください。これ以外のフォントを使用した場合、文字・段落のずれ・文字化け・表示されない等のトラブルが発生する可能性があります。
- 4) PC 持参の方のみ、動画・アニメーション・音声再生は可能です。データのみ持込みの方は使用できませんので、ご了承ください。
- 5) PowerPoint のファイルには、「演題番号-氏名（フルネーム）」を付けてください。

3. 口演発表の受付

発表データ受付：7:15 ～ 16:00

発表1時間前までに PC 受付にてスライドのご確認をお願いいたします。

1) データ持ち込みの場合

受付されたデータは事務局で用意した PC にデータをコピー致します。メディアはその場で返却致します。なお、発表終了後は事務局で責任を持って、データを消去致します。

2) PC 本体持ち込みの場合

①お持ちいただく PC の種類、OS 及びアプリケーションソフトは問いません。

②会場プロジェクターへは、

一般的な外部出力端子（D-Sub15pin）での接続となります（右図参照）。

Macintosh や一部の Windows は変換コネクタが必要となりますので、必ずご持参下さい。

③ AC アダプターは必ずご持参下さい。

④スクリーンセイバー、省電力設定はあらかじめ解除して下さい。試写の際、解除させていただく場合がございます。

⑤発表終了後、オペレーター卓で PC を返却いたしますので、必ずお立ち寄り下さい。

⑥ PC のトラブルによる映像の投影が不可能となっても、事務局では責任を負いかねます。バックアップデータを持参されることをお勧め致します。



ポスター発表規定

1) 貼付時間

8:00 ～ 10:30

2) 発表時間

発表時間は 5 分、質疑応答 3 分です。

終了時間 1 分前と終了時間にベルがなります。

各自が時間を厳守して下さい。

3) 討論

発表者は指定された討論開始時刻 15 分前に、
ポスターパネルの前で待機してください。

4) ポスター形式

ポスターパネルは縦 210cm、横 90cm です。

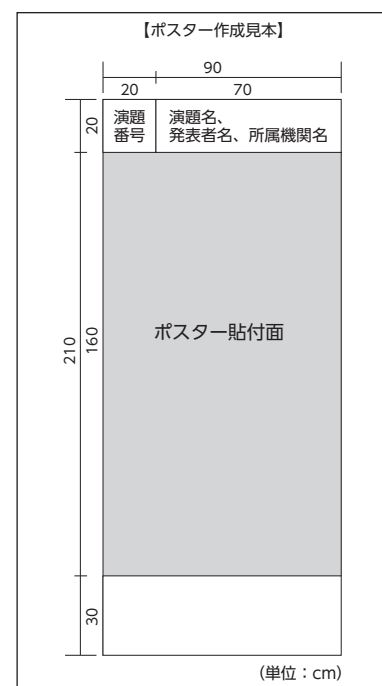
図のようにパネル上部左から 20cm は演題番号（事務局で用意します）、
右から 70cm は演題名、演者名、所属に使用してください。

展示有効スペースは縦 160cm × 横 90cm です。

5) 撤去

5 月 21 日（土） 最終セッション終了後～ 17:10

指定の撤去時間に撤去されないポスターは、事務局で処分させていただきます。

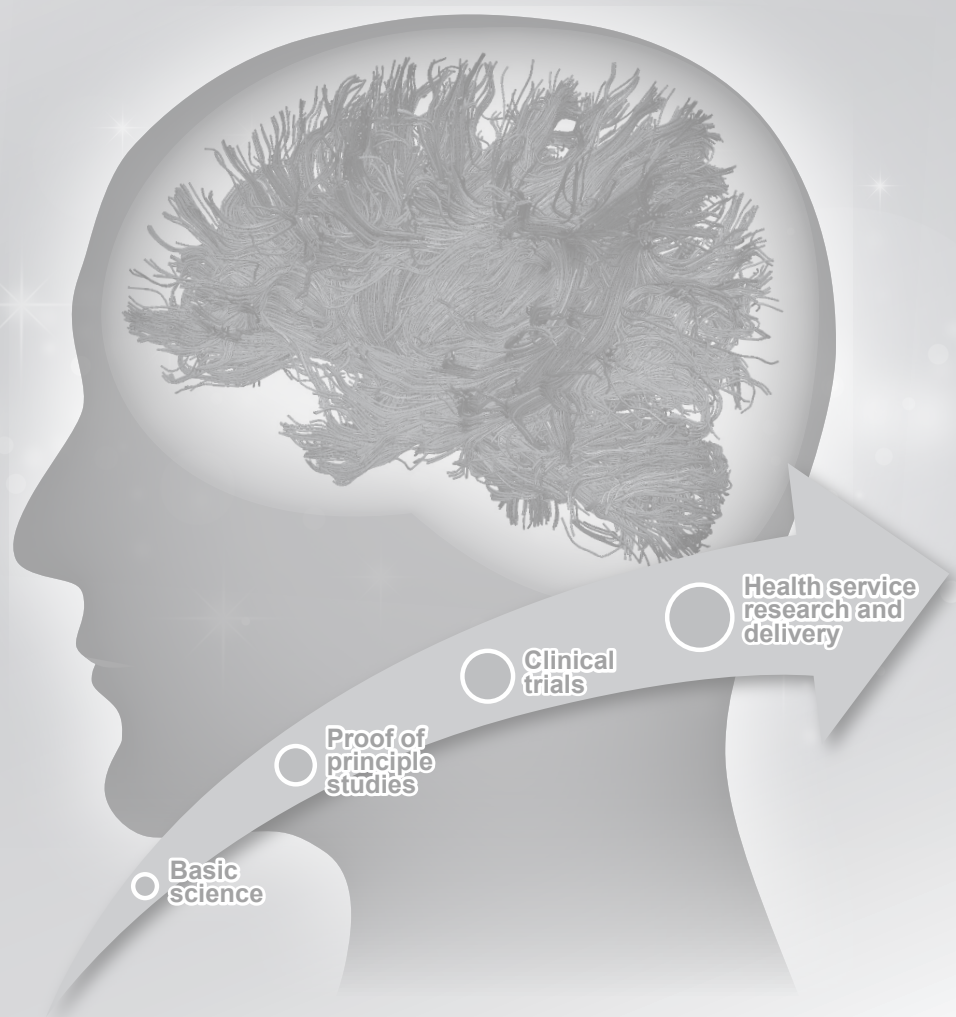


日程表

2016年5月21日(土) 神戸国際会議場

	国際会議室 (3F) 第1会場	401+402 (4F) 第2会場	レセプションホール (3F) ポスター会場	ラウンジ (3F) 展示会場
7:30	7:55 ~ 8:00 開会の辞			
8:00	「なめる神経内科 10」 8:00 ~ 10:00 共催シンポジウム 1 「なめる神経内科の中のニューロリハビリテーションの役割 ~ニューロリハは disease modifying therapy としての役割を果たせるか?」 座長: 梶 龍児、宮井 一郎 「BMI」とニューロリハビリテーション」 牛場 潤一	8:00 ~ 8:50 口演 1 【診断・評価】 O1-1 ~ 6 座長: 道免 和久	8:00 ~ 10:30	
9:00	「神経損傷に対する革新的なニューロリハビリテ- ション」人工神経接続」 西村 幸男 「自家骨髄間質細胞移植による脳梗塞再生医療をめざして」 七戸 秀夫、寶金 清博 「脊髄再生医療におけるリハビリの重要性」 中村 雅也 共催: 日本神経学会	8:50 ~ 9:40 口演 2 【パーキンソン病】 O2-1 ~ 6 座長: 野川 茂	ポスター 貼付	9:00 ~ 17:00
10:00	10:05 ~ 10:35 招待講演 Klaus RH von Wild 座長: 近藤 和泉	9:40 ~ 10:40 口演 3 【治療 1・ロボティクス】 O3-1 ~ 7 座長: 佐伯 寛	講演タイトル 「Music and Mind: The Impact of Music on Emotions, Human Skills, and Social Life. Chances for Neurologic Music Therapy in NeuroRehabilitation and Physical Medicine」	
11:00	10:40 ~ 11:40 Plenary Lecture 「Modulating plasticity to repair the injured brain」 Randolph J. Nudo 座長: 宮井 一郎	10:40 ~ 11:40 口演 4 【神経生理・神経画像】 O4-1 ~ 7 座長: 出江 紳一	10:30 ~ 11:40 ポスター 1 【基礎研究】 P1-1 ~ 8 座長: 黒田 敏	10:30 ~ 11:40 ポスター 2 【高次脳機能障害・失語症・嚥下障害】 P2-1 ~ 8 座長: 深浦 順一
12:00	11:45 ~ 12:45 ランチョンセミナー 1 「脳の可能性を引き出すニューロリハビリテーション」 三原 雅史 座長: 岡本 隆嗣 共催: 株式会社島津製作所	11:45 ~ 12:45 ランチョンセミナー 2 「脳卒中リハビリテーションの流れ Evidence and Experiment based Rehabilitation Medicine」 藤原 俊之 座長: 佐伯 寛 共催: 川村義肢株式会社 / バシフィックサプライ株式会社	11:40 ~ 13:10 ポスター 閲覧	企業展示
13:00	12:50 ~ 14:50 シンポジウム 「未来のニューロリハビリテーションに つながる基礎から臨床への橋渡し」 座長: 鈴木 則宏、出江 紳一 「神経回路研究とニューロリハビリテーション」 関 和彦 「脳損傷後の訓練がもたらす可塑性変化: サルモデルを用いた研究」 肥後 範行 「非線形神経ダイナミクスとニューロリハビリテーション」 北城 圭一 「リアルタイム ECoG マッピングによる機能 connectome の可視化」 鎌田 恭輔	12:50 ~ 13:50 口演 5 【ニューロモジュレーション 1】 O5-1 ~ 7 座長: 加賀谷 齊	13:10 ~ 14:20 ポスター 3 【治療 1】 P3-1 ~ 7 座長: 園田 茂	13:10 ~ 14:20 ポスター 4 【認知症・予後・その他】 P4-1 ~ 8 座長: 中村 春基
14:00	13:50 ~ 14:50 口演 6 【ニューロモジュレーション 2】 O6-1 ~ 7 座長: 島田 洋一		14:20 ~ 14:50 ポスター 閲覧	
15:00	15:00 ~ 16:50 共催シンポジウム 2 「ニューロリハビリテーションの新たな治療アプローチ」 座長: 加世田ゆみ子、生駒 一憲 「痙攣に対するボツリヌス療法」 塚本 愛 「摂食嚥下障害に対する多職種介入」 平岡 崇	15:00 ~ 16:00 教育講演 1 「認知症のリハビリテーション: 意欲を高め笑顔の生活を再構築する」 山口 晴保 座長: 中村 春基	14:50 ~ 16:00 ポスター 5 【ニューロモジュレーション 1】 P5-1 ~ 8 座長: 大熊 洋揮	14:50 ~ 16:00 ポスター 6 【治療 2・ニューロモジュレーション 2】 P6-1 ~ 8 座長: 下室園 恵
16:00	「半側空間無視に対する新しいリハビリテーションアプローチ」 水野 勝広 「認知症に対する音楽療法のエビデンス」 佐藤 正之 共催: 日本神経学会 次期大会長挨拶	16:00 ~ 17:00 教育講演 2 「脳性麻痺治療の新たな潮流 - EBM に基づく集中リハと日常療育 -」 荒井 洋 座長: 朝貝 芳美	16:00 ~ 17:10 ポスター 撤去	
17:00	17:00 ~ 17:10 閉会の辞			

プログラム



The 7th Annual Meeting of the Japanese Society for Neural Repair and Neurorehabilitation

5月21日(土) 第1会場

07:55-08:00	開会の辞
	大会長：宮井 一郎（社会医療法人大道会副理事長、森之宮病院院長代理）
08:00-10:00	共催シンポジウム 1【なおる神経内科の中のニューロリハビリテーションの役割～ニューロリハは disease modifying therapy としての役割を果たせるか？】
	座長：梶 龍児、宮井 一郎 共催：日本神経学会 / 日本ニューロリハビリテーション学会
SS1-1	BMI とニューロリハビリテーション 牛場 潤一（うしば じゅんいち） 慶應義塾大学理工学部リハビリテーション神経科学研究室
SS1-2	神経損傷に対する革新的なニューロリハビリテーション "人工神経接続" 西村 幸男（にしむら ゆきお） 京都大学大学院 医学研究科 神経生物学
SS1-3	自家骨髄間質細胞移植による脳梗塞再生医療をめざして 七戸 秀夫（しちのへ ひでお）、寶金 清博（ほうきん きよひろ） 北海道大学医学研究科 脳神経外科
SS1-4	脊髄再生医療におけるリハビリの重要性 中村 雅也（なかむら まさや） 慶應義塾大学医学部整形外科学
10:05-10:35	招待講演
	座長：近藤 和泉
IL-1	Music and Mind: The Impact of Music on Emotions, Human Skills, and Social Life. Chances for Neurologic Music Therapy in NeuroRehabilitation and Physical Medicine Klaus R.H. von Wild Westphalia Wilhelm University
10:40-11:40	Plenary Lecture
	座長：宮井 一郎
PL-1	Modulating plasticity to repair the injured brain Randolph J. Nudo Landon Center on Aging, University of Kansas Medical Center
11:45-12:45	ランチョンセミナー 1
	座長：岡本 隆嗣 共催：株式会社島津製作所
LS1-1	脳の可能性を引き出すニューロリハビリテーション 三原 雅史（みはら まさひと） 大阪大学 神経内科

12:50-14:50	シンポジウム【未来のニューロリハビリテーションにつながる基礎から臨床への橋渡し】 座長：鈴木 則宏、出江 紳一
SY-1 SY-2 SY-3 SY-4	神経回路研究とニューロリハビリテーション 関 和彦（せき かずひこ） 国立精神・神経医療研究センター（NCNP） 神経研究所 モデル動物開発研究部 脳損傷後の訓練がもたらす可塑的变化：サルモデルを用いた研究 肥後 範行（ひご のりゆき） 国立研究開発法人産業技術総合研究所 人間情報研究部門 非線形神経ダイナミクスとニューロリハビリテーション 北城 圭一（きたじょう けいいち） 理化学研究所脳科学総合研究センター・BSI トヨタ連携センター リアルタイム ECoG マッピングによる機能 connectome の可視化 鎌田 恭輔（かまだ きょうすけ） 旭川医科大学医学部脳神経外科
15:00-16:50	共催シンポジウム 2【ニューロリハビリテーションの新たな治療アプローチ】 座長：加世田 ゆみ子、生駒 一憲 共催：日本神経学会 / 日本ニューロリハビリテーション学会
SS2-1 SS2-2 SS2-3 SS2-4	痙縮に対するボツリヌス療法 塚本 愛（つかもと あい） 独立行政法人国立病院機構徳島病院 神経内科 摂食嚥下障害に対する多職種介入 平岡 崇（ひらおか たかし） ^{1,2} ¹ 川崎医科大学 リハビリテーション医学教室 ² 川崎医療福祉大学 医療技術学部 リハビリテーション学科 半側空間無視に対する新しいリハビリテーションアプローチ 水野 勝広（みずの かつひろ） 慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室 認知症に対する音楽療法のエビデンス 佐藤 正之（さとう まさゆき） 三重大学大学院医学系研究科 認知症医療学講座
16:55-17:00	次期大会長挨拶 黒田 敏（富山大学医学部 脳神経外科学講座）
17:00-17:10	閉会の辞 大会長：宮井 一郎（社会医療法人大道会副理事長森之宮病院院長代理）

5月21日(土) 第2会場

08:00-08:50

口演1【診断・評価】

座長：道免 和久

01-1 重心と足圧中心の同時計測による動的バランス機能の客観的評価法

佐々 遼馬 (さっさ りょうま)¹、向野 雅彦²、大塚 圭³、松田 文浩³、
田辺 茂雄³、才藤 栄一²¹ 藤田保健衛生大学病院 リハビリテーション部² 藤田保健衛生大学病院 医学部 リハビリテーション医学1講座³ 藤田保健衛生大学 医療科学部 リハビリテーション学科

01-2 三次元動作解析装置を用いた脳卒中上肢麻痺の共同運動の妥当性

稲盛 裕香里 (いなもり ゆかり)¹、宮坂 裕之^{1,2}、堀 和朗¹、加藤 愛¹、武田 湖太郎²、園田 茂^{1,2}¹ 藤田保健衛生大学 七栗記念病院² 藤田保健衛生大学 七栗記念研究所

01-3 動的座位バランス装置を用いた中高生の体幹バランス評価

益谷 法光 (ますたに のりみつ)¹、松永 俊樹²、木島 泰明¹、斉藤 公男¹、水谷 嵩¹、
木村 竜太¹、島田 洋一¹¹ 秋田大学大学院 医学系研究科 医学専攻 機能展開医学系 整形外科学講座² 秋田大学医学部附属病院リハビリテーション科

01-4 痙縮による歩行中の肘屈曲に対するボツリヌス治療の定量的効果判定

小辻 雄介 (こつじ ゆうすけ)¹、谷川 広樹²、加賀谷 斉³、稲垣 圭亮¹、
藤村 健太¹、鈴木 啓太¹、才藤 栄一³¹ 藤田保健衛生大学病院 リハビリテーション部² 藤田保健衛生大学 医療科学部 リハビリテーション学科³ 藤田保健衛生大学 医学部 リハビリテーション医学I講座01-5 脳卒中片麻痺患者の麻痺側上肢運動に対する介入方法の違いが
脳・筋活動に与える影響 - 機能的MRI・表面筋電図の同時計測による検討 -神尾 昭宏 (じんお あきひろ)¹、服部 憲明²、宮井 一郎²¹ 社会医療法人 大道会 森之宮病院 リハビリテーション部² 社会医療法人 大道会 森之宮病院 神経リハビリテーション研究部

01-6 ミラーセラピーが上肢のヘミパリアーズに有効であった視床出血慢性期の一症例

上野 真 (うえの まこと)、三浦 聖史、宮田 隆司、衛藤 誠二、下堂 蘭 恵

鹿児島大学大学院歯学総合研究科リハビリテーション医学

08:50-09:40

口演2【パーキンソン病】

座長：野川 茂

02-1 パーキンソン病の認知機能に対する有酸素運動を用いた集団訓練の効果

丸本 浩平 (まるもと こうへい)^{1,2,3}、徳増 慶子⁴、細江 弥生⁴、宮田 良子⁵、大藪 弘子⁴、
堀尾 典之⁶、道免 和久³、横山 和正²¹ 兵庫県立リハビリテーション西播磨病院 リハビリテーション科² 兵庫県立リハビリテーション西播磨病院 神経内科³ 兵庫医科大学 リハビリテーション医学教室⁴ 兵庫県立リハビリテーション西播磨病院 リハビリ療法部⁵ 兵庫県立リハビリテーション西播磨病院 看護部⁶ 西播磨総合リハビリテーションセンター ふれあいスポーツ交流館

**02-2 外的刺激が軽度パーキンソン病患者の歩行障害に与える影響—
3 軸加速度計を用いた歩行解析**谷口 星来 (たにぐち せいら)¹、植月 静²、下川 哲也³¹医療法人社団 和敬会 みきやまりハビリテーション病院 療法部²兵庫県立西播磨総合リハビリテーションセンター リハビリ療法部³国立研究開発法人 情報通信研究機構 脳情報通信融合研究センター**02-3 パーキンソン病患者のペダリング運動の特徴とリズム運動を含む運動療法の効果**細江 弥生 (ほそえ やよい)¹、丸本 浩平²、宮田 良子³、井上 美智子³、
高野 和喜⁴、横山 和正²¹兵庫県立リハビリテーション西播磨病院 リハビリ療法部²兵庫県立リハビリテーション西播磨病院 神経内科³兵庫県立リハビリテーション西播磨病院 看護部⁴兵庫県立リハビリテーション西播磨病院 臨床検査部**02-4 認知機能低下したパーキンソン病 (PD) 患者に対する効果的な
入院リハビリテーション方法の検討**嶋本 稔也 (しまもと としや)¹、内野 克尚²、荒瀬 健二郎¹、本島 拓哉¹、
甲斐 均¹、小出 達也²、内野 誠²¹杏和会 総合リハビリテーションセンター城南病院 リハビリテーション科²杏和会 総合リハビリテーションセンター城南病院 神経内科**02-5 視床下核刺激療法がパーキンソン病患者の姿勢と転倒リスクに及ぼす効果**新免 利郎 (しんめん としろう)¹、上利 崇²、若森 孝彰^{1,2}、小野 敦¹、
佐々木 達也²、寺田 洋明¹、伊達 勲²¹光生病院 神経回復センター²岡山大学大学院 脳神経外科**02-6 パーキンソン病の腰曲がり診療における整形外科疾患への保存的治療効果一質的検討**

松井 彩乃 (まつい あやの)

研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 病院

09:40-10:40 口演 3【治療・ロボティクス】

座長：佐伯 寛

03-1 観察された運動の両手間転移に関する運動学的研究岩坂 憂児 (いわさか ゆうじ)^{1,3}、出江 紳一^{1,2}¹東北大学大学院 医学系研究科 肢体不自由学分野²東北大学大学院 医工学研究科 リハビリテーション医工学分野³東北保健医療専門学校 理学療法科**03-2 慢性期脳卒中片麻痺患者に対するボツリヌス療法と
短期集中リハビリテーションの実施状況について - 麻痺側機能・能力向上の検証 -**森本 忍 (もりもと じん)¹、高井 遥菜¹、紙谷 貴裕¹、高橋 友哉²¹医療法人社団 秋桜 丸川病院 リハビリテーション部²医療法人社団 秋桜 丸川病院 診療部**03-3 脳卒中片麻痺上肢の治療的電気刺激に対する卓上型リハビリテーションロボットでの機能評価**水谷 嵩 (みづたに たかし)¹、松永 俊樹²、益谷 法光¹、木村 竜太¹、千田 聡明²、
島田 洋一¹¹秋田大学 大学院 整形外科科学講座²秋田大学医学部附属病院リハビリテーション科

03-4 InMotion ARM™ Robot を用いた上肢到達運動における 主動筋・拮抗筋の関係の検討

古澤 章太郎（ふるざわ しょうたろう）¹、向野 雅彦²、大河内 由紀¹、西田 咲紀¹、熊澤 暢宏⁴、
太田 皓文¹、岩田 香澄¹、梶谷 香奈恵¹、田辺 茂雄³、才藤 栄一²

¹ 藤田保健衛生大学病院 リハビリテーション部

² 藤田保健衛生大学 医学部 リハビリテーション医学I講座

³ 藤田保健衛生大学 医療科学部 リハビリテーション学科

⁴ 藤田保健衛生大学 大学院 保健学研究科

03-5 ロボットアーム水平面外乱環境における脳卒中軽度片麻痺者リーチ動作の分析

千田 聡明（ちだ さとあき）¹、松永 俊樹¹、畠山 和利¹、渡邊 基起¹、
高橋 裕介¹、島田 洋一¹、巖見 武裕²

¹ 秋田大学医学部附属病院 リハビリテーション科

² 秋田大学大学院工学資源学研究科機械工学専攻

03-6 脳卒中後上肢痙性麻痺に対するボツリヌス療法と ReoGo-J を用いた 理学療法の併用療法について～ロボットリハビリテーション外来における取り組みについて～

北島 昌輝（きたじま まさき）¹、浅見 豊子²、南里 悠介²、鈴木 麻美¹

¹ 佐賀大学 医学部 附属病院 先進総合機能回復センター

² 佐賀大学 医学部 附属病院 リハビリテーション科

03-7 機能的電気刺激を併用した反復歩行訓練ロボットの開発

巖見 武裕（いわみ たけひろ）¹、松永 俊樹²³、木村 竜太²、畠山 和利³、
千田 聡明³、渡邊 基起³、高橋 裕介³、島田 洋一²

¹ 秋田大学 理工学部 システムデザイン工学科

² 秋田大学医学部整形外科

³ 秋田大学医学部附属病院リハビリテーション科

10:40-11:40 口演 4【神経生理・神経画像】

座長：出江 紳一

04-1 感覚運動野の脳波位相同期は脳卒中後の上肢運動機能を反映する

河野 悌司（かわの ていじ）¹、服部 憲明¹²、畠中 めぐみ¹、宇野 裕²、
北城 圭一²、矢倉 一¹、藤本 宏明¹³、宮井 一郎¹

¹ 社会医療法人大道会 森之宮病院 神経リハビリテーション研究部

² 理化学研究所・脳科学総合研究センター BSI-トヨタ連携センター・脳リズム情報処理連携ユニット

³ 大阪大学 大学院医学研究科 神経内科学

04-2 Churg-Strauss 症候群の臨床的・電気生理学的特徴と治療効果

野川 茂（のがわ しげる）¹、阿部 哲郎¹、高地 真以子¹、飯島 一侑樹¹、
安田 高志¹、徳岡 健太郎¹、古賀 信太郎²、笹尾 ゆう²、古川 俊明²、
北川 泰久¹

¹ 東海大学医学部附属八王子病院 神経内科

² 東海大学医学部附属八王子病院 リハビリテーション科

04-3 半球間の大域的脳波位相同期は脳卒中後の日常生活能力と関係する

宇野 裕（うの ゆたか）¹、服部 憲明¹²、河野 悌司²、畠中 めぐみ²、宮井 一郎²、
北城 圭一¹

¹ 理化学研究所 脳科学総合研究センター 理研BSI-TOYOTA連携センター

² 森之宮病院 神経リハビリテーション研究部

プログラム	04-4	NAT print を用いたニューロリハビリテーションへの活用—アプリケーション開発— 柴田 孝（しばた たかし） ¹ 、武者 利光 ² 、小杉 幸夫 ² 、田中 美枝子 ² 、 小林 洋平 ² 、松崎 晴康 ² 、堀江 幸男 ¹ 、今城 郁 ³ 、朝田 隆 ⁴ 、黒田 敏 ⁵ ¹ 富山県済生会富山病院 脳卒中センター 脳神経外科 ² (株) 脳機能研究所 ³ 日本光電工業株式会社 ⁴ 東京医科歯科大学 精神医学 ⁵ 富山大学医学部 脳神経外科
	04-5	脳卒中半側空間無視病態とα波周波数との関連 岡崎 由香（おかざき ゆか） ¹ 、服部 憲明 ^{1,2} 、河野 悌司 ² 、宇野 裕 ¹ 、 畠中 めぐみ ² 、宮井 一郎 ² 、北城 圭一 ¹ ¹ 理化学研究所 脳科学総合研究センター 理研BSI-TOYOTA連携センター ² 森之宮病院 神経リハビリテーション研究部
	04-6	汎用型脳波計測用ヘッドギアの試作 宮本 章尋（みやもと あきひろ） ¹ 、田中 真悟 ¹ 、横田 悠右 ² 、成瀬 康 ² ¹ 株式会社 澤村義肢製作所 ² 国立研究開発法人 情報通信研究機構 脳情報通信融合研究センター
	04-7	リアルタイム ECoG マッピング・デコーディングによる言語性システムの変容 鎌田 恭輔（かまだ きょうすけ） ¹ 、小川 博司 ¹ 、Kapeller Christoph ² 、広島 覚 ¹ 、安栄 良悟 ¹ 、 Guger Christoph ² ¹ 旭川医科大学 医学部 脳神経外科 ² Guger technology, Austria
	11:45-12:45	ランチョンセミナー 2 座長：佐伯 覚 共催：川村義肢株式会社 / パシフィックサプライ株式会社
	LS2-1	脳卒中リハビリテーションの流れ Evidence and Experiment based Rehabilitation Medicine 藤原 俊之（東海大学 医学部 リハビリテーション科学）
	12:50-13:50	口演 5【ニューロモジュレーション 1】 座長：加賀谷 斉
	05-1	随意運動介助型電気刺激を用いた頭部屈曲筋力増強効果 百田 貴洋（ももた たかひろ） ¹ 、加賀谷 斉 ² 、稲本 陽子 ¹ 、才藤 栄一 ² ¹ 藤田保健衛生大学 医療科学部 リハビリテーション学科 ² 藤田保健衛生大学 医学部 リハビリテーション医学 I 講座
	05-2	足関節底背屈筋の交互収縮様式が皮質脊髓路興奮性に及ぼす影響 沼田 純希（ぬまた あつき） ¹ 、菅原 憲一 ² ¹ 横須賀市立市民病院 リハビリテーション療法科 ² 神奈川県立保健福祉大学 保険福祉学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻
	05-3	健常者に対する高頻度反復性経頭蓋磁気刺激の即時効果および持続効果 渡邊 基起（わたなべ もとゆき） ¹ 、松永 俊樹 ¹ 、畠山 和利 ¹ 、千田 聡明 ¹ 、高橋 裕介 ¹ 、 島田 洋一 ² ¹ 秋田大学医学部附属病院 リハビリテーション科 ² 秋田大学大学院医学系研究科 医学専攻 機能展開医学系 整形外科学講座

05-4 FES サイクリングにおける代謝効率の検討

松永 俊樹（まつなが としき）¹、益谷 法光²、水谷 嵩²、木村 竜太²、
畠山 和利¹、千田 聡明¹、渡邊 基起¹、高橋 裕介¹、島田 洋一²

¹ 秋田大学医学部附属病院リハビリテーション科・部

² 秋田大学大学院医学系研究科医学専攻機能展開医学系整形外科学講座

05-5 中枢性神経疾患に対する非侵襲的大脳刺激とバーチャルリアリティを用いた治療法の開発：予備的研究

佐伯 覚（さえき さとる）、越智 光宏

産業医科大学 医学部 リハビリテーション医学講座

05-6 嚥下関連神経ネットワークに対する末梢感覚刺激の併用効果

真柄 仁（まがら じん）、井上 誠

新潟大学 医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野

05-7 慢性期脳卒中片麻痺患者に対し機能的電気刺激（ウォークエイド）を用いた多施設共同前向き比較研究

越智 光宏（おち みつひろ）¹、佐伯 覚¹、蜂須賀 研二²

¹ 産業医科大学 医学部 リハビリテーション医学講座

² 門司メディカルセンター

13:50-14:50 口演 6【ニューロモジュレーション2】

座長：島田 洋一

06-1 4 連発磁気刺激法による片麻痺上肢治療－患側刺激が有効だった 3 症例

古賀 信太郎（こが のぶたろう）、児玉 三彦、古川 俊明、藤原 俊之、
正門 由久

東海大学 医学部 専門診療学系 リハビリテーション科学

06-2 末梢神経磁気刺激と作業療法（OT）を併用した上肢機能訓練の効果検討

道又 顕（みちまた あきら）^{1,2}、宮本 さやか¹、管野 秀紀¹、吉田 翔太¹、
荒谷 里美¹、八島 建樹^{3,4}、浅尾 章彦²、出江 紳一^{2,5}

¹ 一般財団法人広南会 広南病院 リハビリテーション科

² 東北大学大学院医学系研究科肢体不自由学分野

³ 株式会社 IFG

⁴ 東北大学大学院工学研究科

⁵ 東北大学大学院医工学研究科リハビリテーション医工学分野

06-3 重度運動麻痺に対して随意運動介助型電気刺激の外部アシストモードとミラーセラピーを併用した一事例

木下 聡志（きのした さとし）、山本 春菜、西尾 由梨恵、熊谷 純久、
清水 康裕、加藤 譲司

輝山会記念病院

06-4 低頻度磁気刺激と 4 連発磁気刺激の効果の比較～書痙患者での単一症例検討から～

児玉 三彦（こだま みつひこ）、古賀 信太郎、藤原 俊之、正門 由久

東海大学 医学部 専門診療学系 リハビリテーション科学

06-5 脳卒中片麻痺患者に対する機能的電気刺激装置（ウォークエイド[®]）の介入効果：介入前後比較試験

松元 秀次（まつもと しゅうじ）、下堂 蘭 恵

鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 運動機能修復学講座 リハビリテーション医学

	06-6	脳性麻痺失調と自傷行為児に対する経頭蓋磁気刺激の応用 朝貝 芳美（あさがい よしみ） 信濃医療福祉センター
	06-7	前頭前野への経頭蓋直流電気刺激（t DCS）は上肢機能を改善できるか？ ～パーキンソン病患者での取り組み～ 石黒 幸治（いしくろ こうじ） ¹ 、黒田 敏 ² ¹ 富山大学附属病院リハビリテーション部 ² 富山大学医学部脳神経外科学講座
15:00-16:00	教育講演 1 座長：中村 春基	
	EL1-1	認知症のリハビリテーション：意欲を高め笑顔の生活を再構築する 山口 晴保（やまぐち はるやす） 群馬大学大学院保健学研究科リハビリテーション学講座
16:00-17:00	教育講演 2 座長：朝貝 芳美	
	EL2-1	脳性麻痺治療の新たな潮流－ EBM に基づく集中リハと日常療育－ 荒井 洋（あらい ひろし） 社会医療法人大道会 森之宮病院 小児神経科

5月21日(土) ポスター会場

10:30-11:40 ポスター 1【基礎研究】

座長：黒田 敏

**P1-1 マカクサル第一次運動野損傷後の神経回路再編成
～腹側運動前野から小脳核へと投射する経路の増加～**山本 竜也 (やまもと たつや)^{1,2}、林 拓也³、村田 弓²、尾上 浩隆⁴、肥後 範行²¹つくば国際大学 医療保健学部 理学療法学科²産業技術総合研究所 人間情報研究部門 システム脳科学研究グループ³理化学研究所 ライフサイエンス技術基盤研究センター 機能構築イメージングユニット⁴理化学研究所 ライフサイエンス技術基盤研究センター 生体機能評価研究チーム**P1-2 Muse 細胞移植による脳出血マウスの神経機能回復**嶋村 則人 (しまむら のりひと)¹、角田 聖英¹、内田 浩喜²、若尾 昌平²、出澤 真理²、大熊 洋揮¹¹弘前大学大学院 医学研究科 脳神経外科²東北大学大学院医学系研究科 細胞組織学分野・人体構造学分野**P1-3 サル脳卒中後疼痛モデルに対する反復経頭蓋磁気刺激法は疼痛行動を減弱させる**長坂 和明 (ながさか かずあき)^{1,2}、高島 一郎^{1,2}、松田 圭司¹、肥後 範行¹¹国立研究開発法人 産業技術総合研究所 人間情報研究部門²筑波大学 人間総合科学研究科 感性認知脳科学**P1-4 リハビリテーションによる脊髄損傷後の皮質脊髄路再構築の促進**

藤田 幸 (ふじた ゆき)、中西 徹、山下 俊英

大阪大学大学院 医学系研究科 分子神経科学

P1-5 D型セリン投与および運動介入による小脳失調マウスの運動失調改善効果別府 秀彦 (べっふ ひでひこ)¹、水谷 謙明¹、千原 猛¹、玉井 育子¹、園田 茂²¹藤田保健衛生大学 藤田記念七栗研究所²藤田保健衛生大学 医学部 リハビリテーション医学 II 講座**P1-6 脳梗塞ラットへのリタンセリン投与が機能回復に与える影響**水谷 謙明 (みづたに けんめい)¹、園田 茂²、別府 秀彦¹¹藤田保健衛生大学 藤田記念七栗研究所 生化学研究部門²藤田保健衛生大学 医学部 リハビリテーション医学 II 講座**P1-7 実験的脳梗塞に対するリハビリテーションと骨髄間葉系幹細胞の経静脈的移植との相乗効果**佐々木 雄一 (ささき ゆういち)^{1,2}、佐々木 祐典¹、石合 純夫²、本望 修¹¹札幌医科大学附属病院 神経再生医療科²札幌医科大学附属病院 リハビリテーション部**P1-8 Combination treatment of moderate hypothermia and mesenchymal stem cell amplifies neuroprotection in vitro model of hypoxic-ischemic injury**田尻 直輝 (たじり なおき)^{1,2,3,4}、Yuji Kaneko⁴、Tsun-Ping Su⁵、Yun Wang⁵、Borlongan Cesar⁴¹吉備国際大学 心理学部 心理学科 大学院心理学研究科²岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 脳神経外科³南フロリダ大学 医学部 理学療法学科⁴南フロリダ大学 医学部 脳神経外科⁵米国国立衛生研究所

10:30-11:40	ポスター 2【高次脳機能障害・失語症・嚥下障害】	座長：深浦 順一
P2-1	高次脳機能訓練及び更衣訓練によって着衣障害が軽減した一症例 中澤 圭佑（なかざわ けいすけ）、小岩 祐二 医療法人社団 総生会 麻生リハビリ総合病院	
P2-2	神経疲労と注意機能の訓練を通して、コミュニケーション機能の向上がみられた一症例 仲村 野花（なかむら やか） 医療法人 総生会 麻生リハビリ総合病院	
P2-3	健常者における半側空間無視の垂直認知に関するシミュレーション —ヘッドマウンテッドディスプレイを用いたヴァーチャル・リアリティによる検討— 四ツ目 綾（よつめ あや）、網本 和 首都大学東京 健康福祉学部 理学療法学科	
P2-4	左頭頂葉病変により道具の使用障害を呈した 3 症例の検討 小久保 香江（こくぼ かえ） ^{1,2} 、畠中 めぐみ ² 、服部 憲明 ² 、宮井 一郎 ² ¹ 神戸学院大学 人文学部 人間心理学科 ² 森之宮病院 神経リハビリテーション研究部	
P2-5	左視床出血後、高次脳機能障害を呈した患者に対し、トイレ動作獲得に向けて、 ADL 訓練と並行して注意訓練を実施した一例 殿塚 愛（とのつか あい） 麻生リハビリ総合病院	
P2-6	回復期リハ病棟入院患者の高次脳機能評価 —認知行動アセスメントによる評価の評価者間差の検討— 清水 健（しみず けん） ¹ 、服部 憲明 ² 、田中 恵子 ² 、三浦 教一 ¹ 、小野 千晶 ¹ 、 小久保 香江 ² 、畠中 めぐみ ² 、宮井 一郎 ² ¹ 社会医療法人 大道会 森之宮病院 リハビリテーション部 ² 神経リハビリテーション研究部	
P2-7	重度の流暢性失語を呈した超高齢者の一例 ～言語症状と発話の質的変化の分析～ 仲田 陽菜（なかだ はるな） ¹ 、重田 律子 ^{2,3} 、遠藤 尚子 ¹ 、清水 康裕 ¹ ¹ 輝山会記念病院 総合リハビリテーションセンター ² 九段坂病院リハビリテーション科 ³ 藤田保健衛生大学医学部リハビリテーション医学Ⅰ講座 研究生	
P2-8	両側小脳・脳幹梗塞により、摂食・嚥下障害を呈した 1 症例 飯田 梢（いいだ こずえ） 医療法人社団 総生会 麻生リハビリ総合病院	
13:10-14:20	ポスター 3【治療 1】	座長：園田 茂
P3-1	他職種と連携した短期集中リハビリにより機能の改善と生活での 使用頻度・質の向上が得られた慢性期重度片麻痺症例 藤沢 周平（ふじさわ しゅうへい）、高橋 友哉 丸川病院	

**P3-2 慢性期脳卒中患者に対する廃用手脱却を目指した一例
～デイケアにおける多職種協働での取り組み～**

濱谷 俊輔（はまたに しゅんすけ）¹、高橋 友哉²

¹医療法人社団秋桜 丸川病院 通所リハビリテーション

²医療法人社団 丸川病院 診療部

P3-3 老人性眼瞼下垂による首下がりが眼瞼挙上術により著明改善した 1 症例

山中 義崇（やまなか よしたか）

千葉大学医学部附属病院 リハビリテーション部

P3-4 脊椎変性疾患における術前後の歩行距離変化の頸腰椎での違い

米花 沙代（よねはな さよ）

小樽市立病院 リハビリテーション科 理学療法士

P3-5 歩容の増悪を呈する慢性期脳卒中患者一症例に対する最適な理学療法についての一考察

小畠 康介（こじま こうすけ）、中村 潤二、生野 公貴

西大和リハビリテーション病院 リハビリテーション部

**P3-6 下肢屈曲共同運動パターンの亢進により歩行が困難であった慢性期脳卒中患者に
対する長期的な受動歩行運動の効果：症例報告**

生野 公貴（いくの こうき）^{1,2}、河島 則天³

¹西大和リハビリテーション病院 リハビリテーション部

²畿央大学大学院 健康科学研究科

³国立障害者リハビリテーションセンター研究所 運動機能系障害研究部 神経筋機能障害研究室

**P3-7 促通反復療法が効果的だったリハビリテーション阻害要因（重複した内部障害）を
合併した超高齢脳卒中片麻痺の一例**

山津 卓也（やまつ たくや）、平田 雅文

医療法人社団 豊生会 東苗穂病院 リハビリテーション部

13:10-14:20 ポスター 4【認知症・予後・その他】

座長：中村 春基

P4-1 体重減少が続くアルツハイマー型認知症事例に対する訪問作業療法

矢野 竜也（やの りゅうや）

特定医療法人 社団若林会 わかば訪問看護ステーション 訪問リハビリ室

P4-2 多彩な認知機能障害を呈し病態把握が困難であった若年性アルツハイマー型認知症の一例

村松 隆二郎（むらまつ りゅうじろう）、植田 郁恵、神谷 正樹、大沢 愛子、近藤 和泉

国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 機能回復診療部

P4-3 アルツハイマー病患者と健常高齢者における床面の模様による歩く方向の誘導効果

岡田 洋平（おかだ ようへい）^{1,2,3}、中山 順⁴、横山 諒¹、藤井 淳¹、冷水 誠^{1,2,3}、森岡 周^{1,2,3}

¹畿央大学 健康科学部 理学療法学科

²畿央大学大学院 健康科学研究科

³畿央大学 ニューロリハビリテーション研究センター

⁴畿央大学 健康科学部 人間環境デザイン学科

P4-4 初発・片側の脳梗塞患者の退院時 ADL 帰結予測における病型・病巣の寄与

松尾 宏（まつお ひろし）¹、園田 茂²、前島 伸一郎²、渡邊 誠²、佐々木 祥²、奥山 夕子²、
岡崎 英人²、岡本 さやか²、近藤 和泉²

¹国立長寿医療研究センター病院

²藤田保健衛生大学七栗記念病院

P4-5 慢性脳卒中者の総合的追跡調査 (Ibaraki Stroke follow-up study) 発病 10 年非麻痺側麻痺側・麻痺側の握力の推移から見てくるもの

澤 俊二 (さわ しゅんじ)¹、園田 茂²、鈴木 めぐみ³、杉山 智久³、山田 将之³、金田 嘉清³、才藤 栄一³

¹ 金城大学 医療健康学部 作業療法学科

² 藤田保健衛生大学七栗記念病院

³ 藤田保健衛生大学

P4-6 回復期病棟における転倒関連要因の検討

田邊 憲二 (たなべ けんじ)¹、神尾 昭宏¹、平松 佑一²、尾形 友里¹、横尾 晋¹、服部 憲明²、宮井 一郎²

¹ 大道会 森之宮病院 リハビリテーション部

² 大道会 森之宮病院 神経リハビリテーション研究部

P4-7 NICU,GCU でリハビリテーションを施行した新生児の現状調査

小野木 啓子 (おのぎ けいこ)¹、近藤 和泉²、星野 美香³、大河内 由紀³、才藤 栄一³

¹ 藤田保健衛生大学 医療科学部 リハビリテーション学科

² 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 機能回復診療部

³ 藤田保健衛生大学病院 リハビリテーション部

⁴ 藤田保健衛生大学 医学部 リハビリテーション医学 I 講座

P4-8 高齢者くも膜下出血患者に対する早期離床の有用性

小笠原 ゆかり (おがさわら ゆかり)、嶋村 則人、大熊 洋揮

弘前大学 大学院 医学研究科 脳神経外科

14:50-16:00 ポスター 5【ニューロモジュレーション1】

座長：大熊 洋揮

P5-1 随意運動介助型電気刺激装置が錐体路の興奮性に与える影響

佐々木 克尚 (ささき かつひさ)¹、加藤 大策¹、沖田 学¹、溝渕 光²

¹ 愛宕病院 リハビリテーション部 ニューロリハビリテーション部門

² 愛宕病院 脳神経センター

P5-2 注意障害を含めた前頭葉機能障害は、近赤外分光法を用いたニューロフィードバック (NIRS-NF) の治療効果に影響するのか？

藤本 宏明 (ふじもと ひろあき)^{1,2}、三原 雅史²、服部 憲明¹、畠中 めぐみ¹、矢倉 一¹、河野 悌司¹、平松 佑一¹、望月 秀樹²、宮井 一郎¹

¹ 森之宮病院 神経リハビリテーション研究部

² 大阪大学大学院医学研究科 神経内科学

P5-3 ボツリヌス療法と低頻度反復経頭蓋磁気刺激を併用した慢性期脳卒中患者の 1 例

平川 雄一 (ひらかわ ゆういち)¹、小山 総市朗¹、上田 哲也¹、田辺 茂雄²、永田 淳二³、神野 哲夫³

¹ 河村病院 リハビリテーション部

² 藤田保健衛生大学 医療科学部

³ 河村病院 脳神経外科

P5-4 慢性期脳卒中患者に対する経頭蓋直流電気刺激の併用療法一歩行能力の向上が得られた一症例—

山口 卓也 (やまぐち たくや)、梶谷 友基、田中 武也

市立長浜病院

P5-5 ニューロモデュレーションと認知運動課題の併用により手指機能が改善した症例加藤 大策 (かとう だいさく)^{1,2}、佐々木 克尚^{1,2}、沖田 かおる²、沖田 学^{1,2,3}、溝渕 光⁴¹ 愛宕病院 ニューロリハビリテーション部門² 愛宕病院 リハビリテーション部³ 高知大学大学院医学系研究科⁴ 愛宕病院 脳神経センター**P5-6 transcranial direct current stimulation(t-DCS) による即時効果と遅延効果についての検討**太田 喜久夫 (おおた きくお)¹、染谷 知香¹、白石 淳史¹、和田 陽介²¹ 国際医療福祉大学病院 リハビリテーション科² 辻村外科病院 リハビリテーション科**P5-7 脳卒中後の Pusher 現象に対する直流前庭電気刺激と運動療法の併用治療の影響ー 2 症例によるシングルケースデザインー**中村 潤二 (なかむら じゅんじ)¹、小島 康介^{1,2}、生野 公貴^{1,2}¹ 西大和リハビリテーション病院 リハビリテーション部² 畿央大学大学院 健康科学研究科**P5-8 経頭蓋直流電気刺激を併用し脳卒中後の疼痛改善に効果があった一例**

田中 武也 (たなか たつや)、山口 卓也

市立長浜病院 リハビリテーション技術科

14:50-16:00 ポスター 6【治療2・ニューロモジュレーション2】

座長：下堂 蘭 恵

P6-1 脳外傷受傷症例が体幹の筋緊張コントロールに難渋したが監視歩行となった一例粥川 知子 (かゆかわ ともこ)¹、深谷 直美¹、杉浦 翼¹、堀尾 和美¹、溝越 恵里子²、青柳 陽一郎²¹ 藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院 リハビリテーション部² 藤田保健衛生大学リハビリテーション医学 I 講座**P6-2 動作の反復練習がふらつき改善に寄与しためまい症に対する理学療法の経験**高橋 裕介 (たかはし ゆうすけ)¹、松永 俊樹¹、畠山 和利¹、千田 聡明¹、渡邊 基起¹、島田 洋一²¹ 秋田大学 医学部附属病院 リハビリテーション科・部² 秋田大学大学院医学系研究科医学専攻機能展開医学系整形外科学講座**P6-3 歩行練習アシスト GEAR によるロボットリハビリテーションが効果的だった脳卒中片麻痺 2 例の検討**木村 竜太 (きむら りょうた)¹、松永 俊樹²、佐藤 峰善²、畠山 和利²、渡邊 基起²、高橋 裕介²、益谷 法光¹、水谷 嵩¹、島田 洋一¹¹ 秋田大学大学院 整形外科² 秋田大学医学部附属病院リハビリテーション科**P6-4 IVES・自主練習を早期より取り入れた事で麻痺側手指の随意性向上し復職した一症例**小谷 真以 (こだに まい)¹、神尾 昭宏¹、服部 憲明²、畠中 めぐみ²¹ 社会医療法人 大道会 森之宮病院 リハビリテーション部² 社会医療法人 大道会 森之宮病院 神経リハビリテーション研究部**P6-5 体幹伸展筋への治療的電気刺激効果の検討**畠山 和利 (はたけやま かずとし)¹、松永 俊樹¹、千田 聡明¹、渡邊 基起¹、高橋 裕介¹、島田 洋一²、巖見 武裕³¹ 秋田大学 医学部附属病院 リハビリテーション部² 秋田大学 大学院 医学系研究科 整形外科学講座³ 秋田大学 理工学部 システムデザイン工学科

P6-6 P6-7 P6-8	複合性局所疼痛症候群Ⅰ型の疼痛抑制リハビリテーション 運動イメージ想起課題を用いた方法の検討 角井 俊幸（かくい としゆき）¹、橋本 泰成²、大田 哲生¹ ¹ 旭川医科大学病院 リハビリテーション科 ² 北見工業大学 工学部電気電子工学科 Microcurrent を用いた直流前庭電気刺激 (GVS) が主観的身体垂直に及ぼす影響 塚畑 美里（つかはた みさと）、網本 和 首都大学東京 健康福祉学部 理学療法学科 下肢運動麻痺患者の運動企図を反映した リハビリテーションシステムに対する機能的電気刺激装置の適用検討 中谷 真太郎（なかたに しんたろう）¹、荒木 望¹、小西 康夫¹、満洲 邦彦² ¹ 兵庫県立大学大学院 工学研究科 ² 東京大学 大学院 情報理工学系研究科
16:00-17:10	ポスター撤去